

# 柏西ロータリークラブ

創立：1975年11月 7日  
承認：1975年11月24日

## 四つのテスト

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるか？



第1986回合同例会 (2017.2.23)

会長：馬場 弘 幹事：水留 茂之

■柏西ロータリークラブ URL: <http://kashiwa-nishi-rc.com/>

■第2790地区ロータリークラブ URL: <http://www.rid2790.jp/2016/>

### 2016-2017 年度国際ロータリー第2790地区第10分区

## 合同例会及びI.M. プログラム

【日時】平成29年2月23日(木曜日)

【会場】ザ・クレストホテル柏

【登録受付】15:30～

【合同例会】

16:00 点鐘  
国歌斉唱「君が代」  
ロータリーソング「奉仕の理想」  
来賓・ゲスト紹介  
参加クラブ紹介  
ホストクラブ会長挨拶  
来賓挨拶

司会 柏東 RC SAA 藤原 和子  
ガバナー補佐 石戸 卓志

ガバナー補佐 石戸 卓志  
ガバナー補佐 石戸 卓志  
柏東 RC 会長 酒巻 秀明  
柏市長 秋山 浩保  
我孫子市長 星野 順一郎  
ガバナー補佐 石戸 卓志  
司会 補佐幹事 荻野 勝

16:20 閉会の点鐘

【I.M.】

16:30 開会  
ガバナー補佐挨拶  
16:35 基調講演「ロータリーの来し方、行く末」  
…………… 休憩 ……………

ガバナー補佐 石戸 卓志  
パストガバナー 中村 博亘

17:40 各クラブ発表「我がクラブの目指すロータリー」各クラブ次年度会長(10分程度)

柏 RC 溜川 良次  
我孫子 RC 服部 広司  
柏西 RC 金子 正  
柏南 RC 小林 亘  
柏東 RC 藤原 和子  
ガバナーエレクト 寺嶋 哲生  
ガバナー補佐 石戸 卓志  
司会 柏東 RC 吉田 恵次  
柏東 RC 酒巻 秀明  
柏東 RC 藤原 和子

18:15 総評  
18:30 閉会の挨拶

【懇親会】

18:40 乾杯  
20:20 中締め



2016-17 年度も後半期に入りましたが、皆様には、今年度 RI 方針「人煩に奉仕するロータリー」具現化に向け、地区運営指針「感謝と挑戦」を基に、クラブが立案した方針・目標の達成に取り組んでいただいていることと思います。

さて、I. M. (Inter-City Meeting= 都市連合会) は、懇談等を通じた会員相互の友好 (Fellowship) 深化、ロータリー活動に関する情報伝達、知識の向上等を目的として、近郊都市の複数クラブが合同で開催する集りです。I.M. は全会員が参加対象ですので、皆さんにとって、多くのことを学ぶと共に、多くの知己を得る良い機会です。尚、当地区では、毎年、ガバナー補佐主催により分区単位で開催されています。

直近 2 年間の当地区 I. M. は前半期に開催されましたが、本年度は、会員歴の短い会員のロータリー活動に対する理解深化・関心向上への取組を強化すべく、近年地区主催で開催されてきたロータリー情報研修会をガバナー補佐主催により分区単位で前半期に開催し、I.M. は後半期開催に戻しました。

分区分別ロータリー情報研修会は、当初予定の会員歴 5 年未満以外の会員も参加したクラブがあり、参加者総数が 562 名になりましたが、クラブを超えて、元気なクラブ造りに向けた熱心な意見交換が行われました。また、本年度ガバナー公式訪問は、約 3 分の 2 のクラブが複数

クラブ合同協議会であったため、他クラブの活動情報周知、問題意識の共有化等を通じ、活動活性化に向けた切実な環境が醸成出来たと思っています。

ジャーム RI 会長が私達に求めている「会員増強」の当地区の現状は、11 月末現在、期首に比べて全ての分区で会員が増加し、地区全体では 111 名増の 2,840 名です。しかし、地域の特性もあってか、個々のクラブを見ると、会員が増えていないクラブ、また、残念乍ら減少したクラブもあります。また、6 月末になると例年多くの退会者が出ます。

I.M. で、是非、会員の皆さんがロータリアンになって良かったと思える活動・クラブ運営の追及、並びに、結果としての退会者極少化、及び価値観を分かち合う仲間への輪の拡大に向け、皆で知恵と知恵を出し合ってください。ロータリーでは、入会間もない会員も、また、会員歴 20 年、30 年の会員も平等です。本日の機会を通じ、多くの仲間と友好を深めると共に、ガバナー公式訪問で多くのクラブから提起された「元気なクラブ造り」、「会員増強」等の課題について、胸襟を開いて話し合っていたけると幸いです。

最後になりますが、本日の I.M. を企画・手配・運営されたガバナー補佐を始めとする関係者の皆様のご努力に深謝すると共に、本日の I.M. が実りあるものとなるよう祈念申し上げます。

## 基調講演「ロータリーの来し方、行く末」

パストガバナー 中村 博 亘



### ロータリーの創始期と職業奉仕

1905年: シカゴにロータリー・クラブ創設

1906年: 綱領で「会員間の親交と、会員相互の職業上の利益を計り、シカゴ市の振興を目的とする」掲げる。

*He profits most who serves his fellow best.*

1911年: 全米ロータリー・クラブ連合会年次大会

*He profits most who serves best.* (フレデリック・シェルドン)

*Service, not self.* (フランクリン・コリンズ)

が提唱される。

↓  
*Service above self.*

1913年:ロータリアン各自が如何にして職業倫理を高めるかの指針を作成し、次の大会に提案することが決議される。

1915年:全分野の職業人のための倫理訓(道徳律)が採択され、「ロータリー通解」(A Talking Knowledge of Rotary)に掲載、全会員に配布される。(倫理教育委員会の委員長で通解の著者はガイ・ガンディカー Guy Gundaker)

・「ロータリー通解」は1931年に配布中止、1951年には手続要覧の掲載中止、1980年RI細則第16条の「道徳律」が削除される。

## 職業人のためのロータリー道徳律

- 第1. わが職業は価値あるものであり世に奉仕する絶好の機会が与えられていると考えるべきこと。
- 第2. わが身を修め、わが能力を向上し、わが奉仕を拡大すべきこと。そうすることによって最もよく奉仕するもの最も多く報いられるというロータリーの基本原理に対して忠実なることを立証すべきこと。
- 第3. われは実業人であり成功の野心を抱いていることを認める。同時に道徳を重んずる人間であり、最高の正義と道徳に基づかざる成功はこれを欲するものではないと自覚すべきこと。
- 第4. わが商品は、わがサービス、わが創意工夫を、利益を目的として他と交換するのは合法にして道徳に基づくと信念をもつべきこと。ただしすべての当事者がこの交換によって利益を受けることを前提とする。
- 第5. わが職業の標準を向上させるための最善の努力をいたし、その結果わが業務の進め方は賢明にして利益をもたらすこの実例になれば幸福への道が開かれることを同業者者に悟らしむるよう実践すべきこと。
- 第6. わが競争者と同等ないそれ以上の完全なサービスをなし得るような方法をもって業務を運営すべきこと。もし疑わしい際には厳格な意味の責任義務を超えて一層のサービスを行うこと。

- 第7. 専門家あるいは実業人の最大の資産のひとつはその友人であることを理解すべきこと。そして友情を通じて得られたものこそ妥当なものであることを理解すべきである。
- 第8. ほとんどの友人は互いに強要するものではなく、利益のためにみだりに友人の信頼を用いえることはロータリーの精神に一致せず道徳律を汚すものである。
- 第9. 他人が行わないような不正の方法によって機会を利用して得た成功は合法的でなく道徳にも反する。また道徳的に疑わしいため他人の採らない機会に乗じて得る成功などは欲しないこと。
- 第10. われは一般人以上にロータリアンたる友人を拘束することはしない。ロータリーの原則は競争ではなく協力であるからである。党派心はロータリーのごとき制度においたはあつてはならない。人格はロータリー内に限られるものではなく広く人類一般に深く根ざすものであることを確認し、すべての人や社会制度をこの高遠な理想に向かしめるためにロータリーは存在するものである。
- 第11. 最後に「すべて人にせられんと思ふことは人にもその通りせよ」という黄金律の普遍性を信じ、地上の天然資源に対してすべての人に均等な機会を与えられてこそ人類社会は最良の状態になるということを主張するものである。

## 職業奉仕(Vocational Service)

・天職理念(Beruf概念): マーチン・ルッター

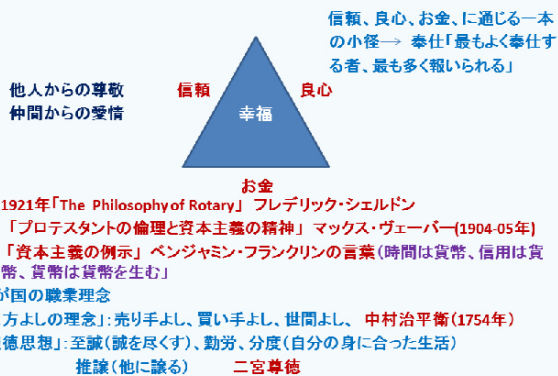
ラテン語のVocare(呼ぶ)→英語のCalling→ドイツ語のBeruf

Vocation:神のお召し、天職、使命感

Beruf:神から与えられた使命、職業

16世紀宗教改革を行ったマーチン・ルッターは宗教改革の結果できた多くのプロテスタントの人々の為に、従来のカトリックの修道士などにみられるような禁欲的倫理観にかわって、職業の中に宗教と道徳を取り入れた倫理観、即ち、天から与えられた職業倫理を説いた。己の職業に忠実に努めることで天の加護が得られるという思想。

## 職業奉仕の理念



## 社会奉仕か職業奉仕か?

1922年:ロスアンゼルス国際大会でエリアン、トレド、クリーブランドの3クラブ共同提案として障害児救済問題が決議採択されます。

これがロータリーの本質にかかわる問題として大激論の火種となる。

反対派の論点

1. ロータリーは実業家、職業人の組織だから、実業及び職業上の問題に力を注ぐべきで、社会問題については唯広く関心を寄せるというだけで事足りる。一業一人という制度の意味もそこにある。
2. ロータリーは個人奉仕が主体で、クラブとしてこの様な問題に直接関与すべきでない。クラブは会員個人にこの様な社会問題に関心を示すよう奨励することとどまるべきである。
3. クラブという組織がこの様な社会問題にのめり込むと、ロータリー本来の面目が失われるおそれがある。ロータリーは言論的唱道機関であるべきだ。
4. 各ロータリー・クラブはそれぞれ独立の存在で完全自治権を持っている。そのクラブ活動に対し、他からあれこれ指図されるいわれがない。

## 社会奉仕に関する1923年の声明 「決議23-34」

1) ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである。

この哲学は奉仕—「超我的奉仕」の哲学であり、これは、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践的な倫理原則に基づくものである。

## 社会奉仕に関する1923年の声明 (決議23-34)

5) 各ロータリー・クラブは、クラブとして関心があり、また、その地域社会に適した社会奉仕活動を自主的選ぶことについて絶対的な権利を持っている。しかし、いかなるクラブも、ロータリーの綱領を無視したり、ロータリー・クラブ結成の本来の目的を危うくするような社会奉仕活動を行ってはならない。そしてRIは、一般的な奉仕活動を研究し、標準化し、推進し、これに関する有益な示唆を与えることはあっても、どんなクラブのどんな社会奉仕活動にせよ、それを命じたり禁じたりすることは絶対にしてはならないものとする。

### 社会奉仕に関する1923年の声明 (決議23-34)

6) 個々のロータリークラブの社会奉仕活動の選択を律する規定は別に設けられていないが、これに関する指針として以下の準則が推奨されている。

(g) クラブがひと固まりとなって行動するだけで足りるような事業よりも、広くすべてのロータリアンの個々の力を動員するもののほうがロータリーの精神によりかかっていると云える。

それは、ロータリークラブでの社会奉仕活動は、ロータリークラブ会員に奉仕の訓練を施すために考えられたいわば研究室の実験としてののみこれを見るべきであるからである。

### 人道的奉仕団体への道のり

- 1936年: 国連大会「人権尊重に関する決議」
- 1945年: 国連憲章起草に参画
- 1947年: ポール・ハリス逝去 78歳  
偉業を記念し、Rotary Foundation Fellowshipを実施、18名の奨学生選ばれる。
- 1962年: 世界社会奉仕プログラムの開始。人道的奉仕活動への転換。
- 1978年: 3-Hプログラム(Health, Hunger, Humanity)
- 1983年: 非営利(NPO)財団法人の申請。

#### 国際ロータリーのロータリー財団

本法人は、慈善的かつ教育的目的、博愛、慈善、教育という特性をもつ、善意に基づく実質的かつ効果的なプログラムの促進を通じて、さまざまな国の国民の間に関係と友好関係を助長することが含まれる。

- 1985年: ポリオ・プラス・プログラム設立
- 1986年: ポリオ・プラス募金開始  
3年間で1億2000万ドル目標。日本は91年まで、約49億円を集める。
- 1987年: 「職業奉仕に関する声明」を発表。クラブが実施する職業奉仕活動を巡る混乱。
- 1989年: 「Service above self」を第一標語、「He profits most who serves best」第二標語となる。「ロータリアンの職業宣言」が採択される。女性会員が認められる。

- 1992年: DLP試験的に始まる。
- 1992年: 決議23-34を補うものとして社会奉仕に関する1992年の声明、決議92-286
- 1996年: DLPを採用。
- 2000年: DLP義務化。  
「ガバナー補佐」「研修リーダー」「地区委員会」設置。
- 2002年: ポリオ撲滅募金キャンペーン(2005年ロータリー創立100周年に向けて)
- 2004年: CLPを採用。
- 2007年: ビル&メリンダ・ゲイツ財団2億ドル寄付。
- 2007年: 「未来の夢」計画発表。
- 2009年: ビル&メリンダ・ゲイツ財団2億5,500万ドル寄付。
- 2010年: 「未来の夢」試験的に始まる。
- 2013年: 「未来の夢」全地区で実施。

### 国際ロータリーの目指すもの (Future Visionより)

AMNESTY international  
Ford Foundation  
Unicef  
Bill & Melinda Gates Foundation  
W.K.Kellogg Foundation  
World Vision  
Oxfam international  
Mac Arthur Foundation

### ロータリーとは何ですかと聞かれたら？

- ロータリーは、世界最大の国際的な人道奉仕団体です。
- ロータリークラブの会員は、事業、専門職のリーダーや地域のリーダーとして地域社会を改善するために協力して活動しているボランティアです。
- 全世界200以上の国と地域に32,000を超えるロータリークラブが存在し、120万以上のクラブ会員を擁しています。
- ロータリーの標語は「超我の奉仕」です。世界中の地域社会のニーズに応えるべく奉仕します。
- ロータリーの最優先する人道的目標はポリオの撲滅です。

### ロータリーのビジョン

私たちは、世界中の地域社会における人々の生活の改善に貢献するため、活発で行動力のあるクラブから成り、人々から選ばれる奉仕組織である。

使命: 私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親睦、平和を推進します。

中核的価値観: 奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ。

標語: 「超我の奉仕」 (Service Above Self)



今回の題目の「我がクラブの目指すロータリー」と言う事ですが、我々の目指すロータリークラブとしては、質の高い奉仕活動を推進して、「元気で活気のあるクラブ」をつくりあげて行く事が大切だと思います。

その為に奉仕活動を充実させて行く活動計画をきちんと整える事が重要であり。また、社会奉仕はクラブの所在地域あるいは、行政区域内に住む人々の生活の質を高めるために役立つ事は何かを検証し、より大きな取組を行なって行く事が、クラブを活性化し、ひいてはロータリークラブの名を高め、会員増強にも繋がって行くのだと思います。このような活動を通して「元気で活気のあるクラブ」が出来上がるのです。

私の年度の「我がクラブの目指すロータリー」については、「魅力のある楽しいクラブ」にして行きたいと思

います。その為に、ロータリークラブに於いては、例会は核的な基礎であり、「ロータリーの例会は人生の道場」とも米山梅吉さんも言っているように、基本に戻り活気のある楽しい例会づくりに力を入れて行きたいと思えます。そして、当クラブでは、最近女性会員も退会してしまい今現在3名しかおりませんので女性会員を増やし例会を華やかにしたいと思います。また、入会して最初は例会に出席しても、その後欠席しがちな方が何人かおります。やはりその方々に、例会に出席して楽しかった、ロータリークラブに入って良かったと言ってもらえるようなクラブにして行きたいと思えます。

その為に、入会して間もない方には、例会前に受付をしていただき、例会終了後に少し時間をいただいて、ロータリーの事がまだよく解らないと思うので、コーヒーを飲みながら談話を行ったり、夜は研修会を兼ねて炉辺会議等を開いて、例会に欠席しがちな人や新入会員とどんどん関わって行きロータリークラブの良さを伝えて行き、ロータリークラブに入って良かったと言ってもらえるよう努力して行きたいと思えます。それが我がクラブの退会防止や会員増強に繋がる事になるので、これらの事を私の年度は力を入れて頑張っていきたいと思えます。

以上が「我がクラブの目指すロータリー」です。



柏東RC会長 坂巻 秀明 様 (ホストクラブ)



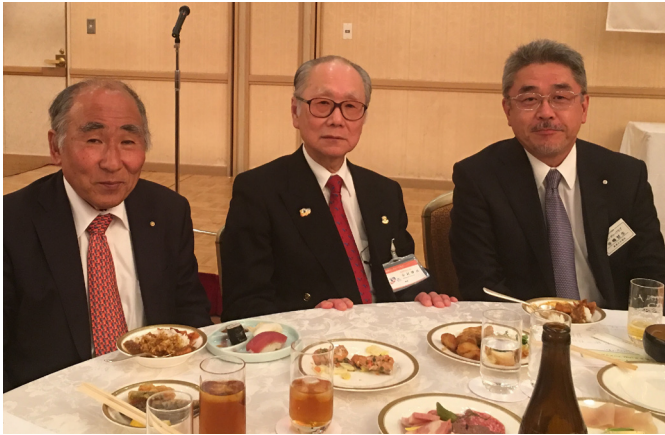
ガバナー補佐 石戸 卓志 様



会場風景



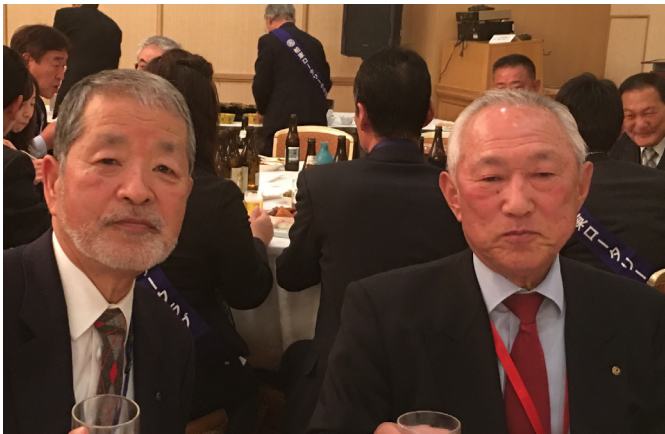
ゲスト



懇親会



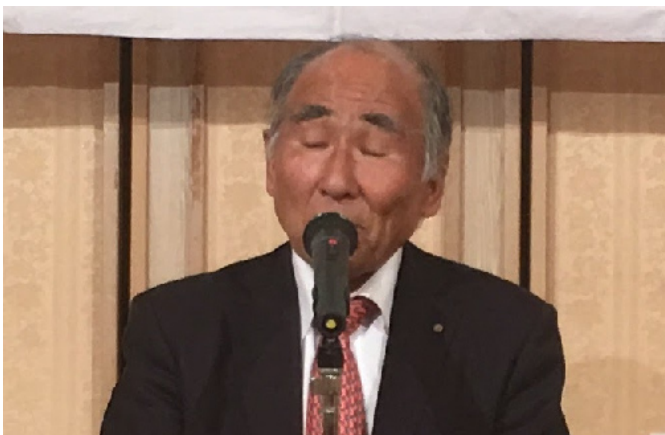
懇親会



懇親会



懇親会



パストガバナー 櫻木 英一郎 様

出席報告	
会員数	62名
欠席者	0名
出席率	100%

次回の例会は3月2～3日移動例会です。  
 クラブ会報委員/安田勝紀・浅野肇・箕輪満・市川利一郎  
 卓話・会報の原稿は kwrc.photo@gmail.com までお送り下さい。

**欠席報告は、水曜日の正午まで**  
 ※食事の無駄をなくす為に協力して下さい。  
 クレストホテル(営業課)04-7146-1122 まで